

美術博物館の催し



ホームページ

「第68回 芦屋市展」作品講評会 「どなたでも応募ができる」自由な公募展

- 期間
【展示】3月10日～29日
【講評会】〈平面〉3月15日(日)〈写真〉3月20日(金・祝)午後2時～4時
- 内容 入選作品の審査員による講評会
- 申し込み 直接会場へ



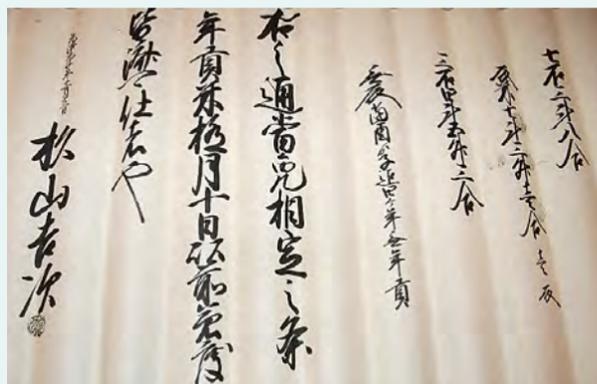
前回の様子

【問い合わせ】美術博物館 ☎38-5432/FAX38-5434/✉ashiya-bihaku@shopro.co.jp(〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日)

歴史企画展 「芦屋の古文書から・左家文書」

歴史を知る上で最も基本的な資料である古文書。当館収蔵の「左家文書」から、江戸時代の三条村(芦屋市三条町)の村政一般・租税・土地・戸口・入会などに関する村方文書を展示します。

- 期間 3月10日～29日 ■会場 歴史資料展示室企画展示スペース
- 申し込み 直接会場へ



左家文書

谷崎潤一郎記念館の催し



ホームページ

春の特別展 「暗闇の谷崎潤一郎 闇を愛した文豪」

谷崎潤一郎は、暗闇にこだわった作家でもあった。闇を基調とする傑作をはじめ、文豪に潜む暗闇を照らし出す。

- 期間 3月14日～6月7日
- 料金 要観覧料



『盲目物語』初版本

ロビーパネル展 「明彩の谷崎潤一郎 彩色写真が解き放つ文豪谷崎」

AIと人間の技術によるモノクロ写真彩色の「魔法」。彩色写真が、文豪谷崎とその作品世界とを新たに染め上げる。

- 期間 3月14日～6月7日
- 料金 要観覧料



平安神宮での花見1940(昭和15)年春

よむ 名作をひもとき名文を朗読講座 小さな朗読会《春の巻》

講座の皆さんが、日頃の成果をお見せします。『細雪』(谷崎潤一郎) 阪神大水害の場面、『早春から春にかけての何篇かの詩』(宮沢賢治・まどみちお他)

- 日時 4月1日(水)午後2時～3時 ■会場 ロビーギャラリー
- 定員 40人(要予約) ■講師 前田伊都子氏(指導)・浅井裕介氏(ゲスト) ■料金 要観覧料 ■申し込み 下記へ

谷崎家の雛人形

谷崎が娘の鮎子のために用意した、丸平(大木平蔵)の雛人形。谷崎のご令孫・高橋百百子様からご寄贈いただいたものを展示室にて公開。



谷崎家の雛人形

- 日時 ～3月29日(日) ※3月9日～13日は展示入替のため休館
- 会場 展示室書齋コーナー ■料金 要観覧料

【問い合わせ】谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244/✉ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp(〒659-0052 伊勢町12-15) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般600(480)円、大高生400(320)円、中学生以下無料 ※ ()内は20人以上の団体料金 ※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方とその介護の方1人は各当日料金の半額

市内の文化財案内 Vol.12

芦屋市指定文化財 伝猿丸太夫之墓

8世紀または9世紀の人物とも言われる実在不明の歌人・猿丸太夫の墓と伝承される花崗岩製の石造物です。宝塔という形式で、形式で見ると、鎌倉時代後期(13世紀)に造られたと考えられます。伝承とは年代が異なるものの、本市に完存する最古の石造物であり、貴重な資料です。



ホームページ



問い合わせ 国際文化推進課 ☎38-2115